

「**熱い心**」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



信は力なり！～主体的・協働的な姿で挑め！～

『**主体的**』とは、やるべき事をやるだけではなく、状況を見ながら自らの意思で判断し、行動すること。『**協働的**』とは、同じ目的に向かって力を合わせて行動すること。以前にもこう紹介した。さあ、いよいよ文化祭の取り組みが本格化していく中、この**主体的・協働的な姿**で絆づくりに挑めているかい？「**金賞をとる**」は大切な**目標**だ。しかし、**もっと大切なもの**は「何を成し遂げたいのか」という**目的**だ。「金賞をとる」という目標に向けていくつもの壁を乗り越えていく闘いを通して、その先に「こうなりたい自分」「こうなりたい自分たち」の姿、つまり「**成し遂げたいもの**」＝**目的**を全員できっちり共有できているかだ。これを見失ってしまうと、「絆づくり」はただつらいだけのものになってしまう。とはいえ、たいていはその泥沼状態に何度かおちいってしまうもの。「なんで本気になれんの？」「それが全力の声？」という熱く訴える声、「ちゃんと出してるし…」「そんなこと言われんでもわかってるし…」というすれ違う思い。本気になるほどこのすれ違いが起こる。つつい本当の目的が見えにくくなって、泥沼になることだってある。そんな時立ち止まって、振り返り、**確かめ直すものは、学級目標や学級旗に込めたみんなの思い**。誓い合った「**こうなりたい自分たち**」の姿。それこそが原点。だから、「やるべき事をやる」、それだけで終わらず「状況を見ながら自らの意思で判断し、行動する」という**主体的な自分たち**でなければ！自分たちの「成し遂げたいもの」はいったい何だったのか、その「同じ目的に向かって力を合わせて行動する」という**協働的な自分たち**でなければ！だから、「あんなに話し合ったのに…。みんなが変わって約束したのに…。」「信じていたのに…」という愚痴(ぐち)になるのではなく、「仲間がすぐ変わるとか、変われないとか関係ない。自分はこの絆づくりの中で、**どんなことがあってもこうありたい自分**を貫き通すんだ」という決意となること。それが**主体的・協働的な姿**のぶつかり合いだろう。**信じるとは、相手への期待ではなく、自分への決意だ！ 信は力なり！**

頑張れ一中！

頑張れ、
駅伝選手！

明日は県駅伝大会(11/2)の市内予選が行われ、24人の精鋭たちが一中代表として挑む。県駅伝大会出場権をかけた戦い、健闘を期待してるよ。頑張れ～一中。また、県新人大会では、**空手組手1年女子の部**で工藤真子さんが見事優勝。素晴らしい。**全国大会出場**も決めた。野球・バスケ・サッカーも試合が行われ、各部とも健闘してた。その中で多くの課題にも気づけたね。新人大会は、まずこの**自分たちの課題**に気づくことが重要だ。県内におけるプレーヤーとしての**自分、チームの現状**を実感することに意義がある。ここからが勝負だ。**悔しさや後悔の気持ち**が冷めないうちに、どこまで**自分の考え方や努力、チームとしての在り方**に変化をもたらすことができるか。今週の練習に対する姿勢が問われるな。頑張れ、**努力は人間に与えられた最大の力**だ。さあ、次は卓球・剣道・バレー・体操の出番だ。「**時を守り、場を清め、礼を正す**」いい姿で頑張れ、一中！

男子	女子
【3年】 田中颯斗・原田光清・ 中津留颯太・藤川颯芽・ 三重野颯太	【3年】 寺元ひかり・若林繭子
【2年】 川野夏矢・木許太賀・ 後藤圭梧・濱野隆晟	【2年】 中村梨夢・上野仁胡
【1年】 染矢陽生・石井稜汰・ 田島杏太郎・小手川蓮	【1年】 内田葉南・後藤紗季・ 寺元カナナ・ 岩崎夢乃・下川歩実・ 西田葵理・工藤香緒